



にしき  
「錦を衣て絢を尚ふ」  
吉  
けい  
くわ

# 尚 紗

華やかな錦の衣装を着ても  
それを直接表にあらわさない謙虚で奥ゆかしい  
心構えを持つ女性の徳をうたった言葉です



尚絅大学短期大学部

総合生活学科  
食物栄養学科  
幼児教育学科

同窓会会員の皆様ご健勝のことと思います。  
コロナ禍で、ここ2年ほど同窓会活動も自粛状態です。  
会員様への原稿依頼もできず、短大の様子や学生たちの  
学外活動のみとなりました。  
時代の流れで、書面での作成も大事としてきましたが、  
ホームページの方にも力を入れておりますので、  
そちらの方もご覧ください。

尚絅短大部同窓会.com

検索



## 会員の皆様へご挨拶



尚絅大学短期大学部同窓会  
会長 森下 ひろ子  
昭和四十九年卒（五回生）  
幼児教育科

早いもので令和も4年目を迎えました。コロナに学び続けて2年、人間の健やかさ儂さ、何よりも日本人の美しさを教えられた歳月でした。

梅の花も咲き揃い、暖かくなつてきました。同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。134年の歴史を顧みて様々な恩恵と歴史の繋がりに思いを馳せるとき、先人たちの青春に心を燃やして、残してくれた歴史の偉大さに感謝せずにはいられません。

伝統と継承、開拓を合言葉に今後更に尚絅らしさを誇りに会員の皆様と手を携えて共に前進して参りましょう。

学園では、新しい学舎も建設され、意氣揚々としています。大学生活の研究や学業成果をいろんな分野に情報発信され、重なる熊本の防災への教育と地域連携、社会貢献の高さに感心しています。女子教育の建学の精神を基に、多くの人材の育成の飛躍に大いに期待したいと思います。未来に向けて、一人ひとりが自分の長所を活かし、生きることと良い未来を創り上げて、周囲を笑顔にし続けられる豊かな社会になりますようお願いわざにはいられません。新しい未来を作るエネルギーを

より大きな幸せの未来へと描いていきたいのです。

同窓会活動を開始してから60有余年、これまで尚絅学園の発展を願い、微力ながらお支えすると同時に、卒業生にもいろいろな活動を提供してお示しして参りました。これからも社会に役立つ人の育成を行っていきたいと思います。

この長い心温まる歴史をもつ同窓会は、今もいろいろな意味で成長し続けています。活動の範囲を広め、親睦を深めていきたいと願っています。

今年度の同窓会は、新たに230名の新入会員をお迎えしました。ただし、コロナ禍のもと、同窓会の活動は、ほとんど行えない状態になりましたことをお詫び申します。今後新しい生活様式が進んでいくことになりますが、安心、安全に体験や情報が共有でき、新しいネットワークや親しく交流できるスタイルの構築も進め未来への創造も始まつていくことだと思います。

最後に、皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈りいたしますと同時に同窓会へのご協力をお願い申し上げます。



## ご挨拶

学校法人尚絅学園理事長

池 满 淵

この間、コロナ禍の中で、社会におけるデジタル技術によって製品やサービス、ビジネスモデルを変革する「デジタルトランスフォーメーション」（DX）が急速に進展していますが、本学でも昨年4月以降、「全学DX推進プロジェクトチーム」を設置して、デジタル技術を活用した教学・管理運営両面に亘る改革・改善に取り組んでいるところです。

学校を取り巻く環境は、少子化の進行、公的補助金の抑制等にコロナ禍も加わり、厳しさを増していますが、今年も教職員の総力を結集して、学園の持続的な発展に向けて邁進してまいる所存です。卒業生の皆様におかれましては、引き続き、本学の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

尚絅大学短期大学部同窓会の皆様には、かねて本学園に格別のご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年末にかけて落ち着いてきた新型コロナウイルスの感染が、年明け後に急拡大に転じ、今年もウイズコロナの多難な日常を覚悟せざるを得なくなつてきました。

顧みますと、本学園では一昨年来のコロナ禍の中にあって、教職員および学生の皆さんの真摯な取り組みにより、お陰様で学校運営は大過なく推移しております。因みに、大学・短期大学部では、授業形態については、対面授業を基本にしつつ、コロナの感染状況次第でオンラインによる遠隔授業を組み合わせて、学修が滞らないよう努めています。また、地域連携・貢献活動面においては、本学の得手とする子育て、食育の分野で、「尚絅子育て研究センター」、「尚絅食育研究センター」がコロナ禍の中で、各種研究会の開催や連携活動を、参加者の人数制限や、インターネットの利用により実施し、着実に所期の成果を上げてきています。

一方、学校行事は、コロナの影響を大きく受けできました。昨年の卒業式、入学式は規模縮小、時間短縮して実施、尚絅祭も規模を縮小し、公開講座や卒業生をお招きしてのホームページカミングデイも開催見送りを余儀なくされました。



# 同窓会 活動内容

2021年4月～2022年3月



4月12日／定例会

密を避け広い室内で  
マスクをつけ  
消毒しての会議



11月5日／定例会

尚絅大学短期大学部同窓会会員の皆様には日頃より本学に格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。また、皆様が地域、職場、家庭など社会の様々なところで、多様な形で社会の発展に貢献されていることが本学の貴重な財産と大きな誇りとなつております。この2年間のコロナ禍の中では、感染対策をしつかりした上で、面接授業を基本にしつつ遠隔授業のよいところやDXなども取り入れた授業で、学びの質向上を目指してきました。一部中止となつた学外実習は、実習予定先の先生や本学の教員による学内での代替実習で乗り切りました。学生、教職員がともにがんばり、例年と同等かそれ以上の学修成果が見られ喜んでいます。例えば食物栄養学科の2年生が受験した栄養士実力認定試験では、同学科の平均点が全国短大生のより3点以上（昨年は2点以上）よい結果が得られています。

近年、少子高齢化をはじめとする様々な社会の変化で、全国的に女子大と短大への志願者減という大きな問題が生じております。そのため、各学部・学科の独自性を生かした更なる魅力アップと高校生や社会のニーズに即応した入試広報体制の整備に取り組む所存です。同窓生の皆様のお力添えもお願い致したく存じます。

また、幼稚教育学科に加え、令和5年度に4年制「こども教



## ご挨拶

尚絅大学・尚絅短期大学部

学長 山縣 ゆり子

育学部」設置の準備中で、保育士資格のほか、幼稚園教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状が取得可能であり、特別な支援を要するこどもに対する教育を身に付け、高い専門性と実践力を修得した保育現場のリーダーとなる人材を育成していく構想です。

コロナ禍が落ち着き、皆様と交流できることを心待ちにしています。大学のホームページには、後輩たちの学びの情報を掲載し、日々更新していますので、ぜひご覧いただき、先輩としてご意見、励ましなどをいただければ幸甚です。

最後になりましたが、尚絅大学短期大学部同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。



**よみがえった高瀬絞り**

下川さんが復元した高瀬絞りの柄

復元された日本最古の藍染め絞り木綿

現代の私たちは、化学染料を大量に生産された服を安く手軽に買うことができます。そんな数十年前までは、草木を使つて染められた服を、何度も染め直して繰り直したりして、大切に使っていました。

江戸時代の記録では、肥後の特産品として「高瀬絞り木綿」が「より始」とあります。かつて玉名でつくられていたこの独特の絞り木綿は、何でも機械化され、化学染料が流通するようになると、染工芸家の下川富士子さんは、平成7年から幻の「高瀬絞り」の研究を開始。多くの文献を読み、高瀬のお年寄りや日本中の色々な人に話を聞き、試行錯誤を重ねました。その結果どうり着いたのが、「高瀬絞りは日本最古」という答えと、復元の成功です。高瀬絞りの柄は、記録上には「朝顔のよう」としか書かれていません。しかし、お年寄りは昭和の中じろまで下着として使用した「ゆきこ」といふ染工芸家、下川富士子さん(82歳、茨城)。

染めは、高瀬が始まった。これを地域おこしに活かしたいと思うんです。

王名の伝統工芸の継承に取り組む

「高瀬絞り体験会」歴史博物館こころビア体験学習自分だけの鮮やか高瀬絞り

11月18日、多くの声に応えて開かれた体験会。定員を超える29人が参加し、高瀬絞りの歴史や技術を学び、赤・青・紫の染料で巾着を染めました。布を紐で2つに縛り、「巻き上げ絞り」技術で実践。完成し広げた瞬間に「高瀬絞りができた！」と喜びの声が会場中に。体験会を終えると、参加者みんな「また体験会をやってほしい」「どうにかしてこの高瀬絞りを広められないか」と話が弾んでいました。

39 | 広報たまな 2019.1

# 短大だより



九品寺キャンパス

事務部長 岡原 安利

尚絅大学・尚絅大学短期大学部  
九品寺キャンパスにおける令和3  
年の主な活動状況及び大学教職員  
の退職者・採用者についてご紹介  
いたします。

今年の始まりは昨年12月からの  
新型コロナウイルス感染症第3  
波が本格化し、熊本県内でも多く  
の感染者が発生し、その波は  
同宣言が解除される2月中旬ま  
で続きました。3月上旬には一  
旦その波は収まり、本学において  
ても参加者を制限するなどの策  
を講じながら卒業式を挙行する  
ことができましたが、4月に入  
り、第4波がやってきて、入学  
式は各部ごとの分散開催となり  
ました。その第4波もまん延防  
止等重点措置が発令される5月  
16日頃ピークとなり、6月には

収まつたかに見えましたが、7  
月下旬から大きな第5波がやつ  
てきて、9月末日頃まで続きま  
した。このように今年は昨年以  
上に、コロナの影響を受け、例  
年取り組んでいたイベント等の  
開催に支障が生じましたが、昨  
年とは異なり、オンライン開催  
のノウハウを構築できることか  
ら、中止は一部に留まり、多く  
はオンラインにて開催すること  
ができた1年でした。

## ◎活動状況

●尚絅教育推進シンポジウム 尚絅教育研究センター及び尚  
絅子育て研究センターを中心  
に、こどもを取り巻く様々な職  
と保育の課題について地域と連  
携しながら、例年1月にシンポ  
ジウムを取り組んでいました  
が、今年は中止としました。

●令和2年度尚絅大学・尚絅大学短期  
大学部卒業式及びオリエンテーション  
について 3月24日(水)に熊本県立劇場演劇ホールにて出席者を卒業生及び学校関係者に制限し、時間を短縮し、感染防止対策を徹底したうえで挙行しました。その後九品寺キャンパスにおいて、学部・学科毎に分散し、オリエンテーションを実施しました。当日ご参加できなかつた保護者の皆様にとつては残念であったと推察されます。  
大学生117名、短期大学部生230名が大きな夢と希望を抱いて本学園を巣立つていきました。

## ●大学7号館完成と現代文化学部の 引っ越しについて

1月21日(木)、大学7号館の竣工式及び内覧会が執り行われ、2月には学生・教職員向け内覧会が実施されました。また、2月下旬には現代文化部所属教員の7号館研究室への引越しが完了し、4月からの授業における体制が整いました。

7号館は、グローバルラウンジ等最新の施設・設備を有しており、大学・短期大学部の学生たちが学修し、交流する場として活用されることとなります。

## ●令和3年度授業について

4月8日(木)より、面接授業を基本とし一部オンライン授業等も取り入れて開講されました。5月から6月にかけてまん延防止等重点措置が発令された一定期間、半日対面授業、半日オンライン授業とする時もありましたが、原則、対面授業を基本として予定通り行われました。

## ●尚絅キャンパスリサーチ開催について

3月21日(日)、キャンパスリサ

ーチを開催し、高校生及びその保護者に多数参加いただきました。従来のオープンキャンパスを少し時間短縮した形式で行いましたが、各学部・学科ごとの紹介、模擬授業、キャンパスツアー等を実施し、本学の雰囲気を肌で感じていただいだと思います。

## ●令和3年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部入学式及びオリエンテーションについて

4月5日(月)、尚絅大学・尚絅大学短期大学部の入学式を挙行しました。今回は、参加者を新入生及び教職員に制限し、学部学科ごとに6会場に分散して、メインホールの大学1号館10階ホールでの学長祝辞等を遠隔で配信する形式で実施しました。大学123名、大学編入生7名、短期大学部生293名が新たなスタートを切りました。

翌6日(火)・7日(水)は学部学科ごとにオリエンテーションを実施し、授業の履修登録や資格取得などの説明等が行われました。

## ●尚絅公開講座について

今年度は中止いたしました。

## ●令和2年度「春季キャリアガイドンス」開催について

例年対面形式で、企業研究会をはじめ講演形式・実践形式で春と夏に開催しています。今年は、コロナ感染防止を考慮し、オンラインによる「合同会社説明会」を3月17日(水)・18日(木)、「面接・マナー・マイクアップ」などの講座を3月16日(火)から1週間程度配信により実施しました。

## ●令和2年度尚絅大学・尚絅大学短期 大学部卒業式及びオリエンテーション について

4月24日(水)に熊本県立劇場演劇ホールにて出席者を卒業生及び学校関係者に制限し、時間を短縮し、感染防止対策を徹底したうえで挙行しました。その後九品寺キャンパスにおいて、学部・学科毎に分散し、オリエンテーションを実施しました。当日ご参加できなかつた保護者の皆様にとつては残念であったと推察されます。

大学生117名、短期大学部生230名が大きな夢と希望を抱いて本学園を巣立つていきました。

## ●学生会主催による新入生歓迎行事について

4月23日(金)、九品寺キャンパスでは、例年、全学部学科によるバレーボール大会を行っていますが、今年はコロナ対策を考慮して、学内スタンプラリー及びフトコントestに内容を変更して実施しました。新入生と在学生とも交流の輪が広がりました。

## ●海外提携大学とのオンライン交流について

今年は、コロナの影響により、全ての短期語学留学及び相互研修旅行が中止となつており、それに代わるものとして、7号館のグローバルラウンジを活用して慈済大学(台湾)や上海杉達大学(中国)、仁德大学校(韓国)とのオンラインによる語学留学、交流会を開催しました。